

社是

至誠と創造

リンテックグループのCSRの根幹は、社是「至誠と創造」にあります。これは、私たちの“あるべき姿”です。

「至誠」とは、
どうすれば役に立ち喜ばれるかを考え、すべての仕事に真心を込めて取り組むことです。

「創造」とは、
現状に満足せず、より高い付加価値を求めて常に工夫と改善に取り組むことです。

あらゆるステークホルダーに誠実であること、革新の気概を持って新たな挑戦を繰り返していくことが、“ものづくり”の会社としての原点です。

“すべては「至誠」に始まり「創造」につながる”

私たちリンテックの変わらぬ姿勢であり、持続的成長を支える原動力です。

LINTEC WAY

社是を支える大切な価値観

至誠を育む5つの心得

- 1 誠実であり続ける
- 2 真心は通じる
- 3 喜びをつくろう
- 4 与える人になる
- 5 仲間と家族を大切にする

創造を育む5つの心得

- 1 成功するまで粘る
- 2 ユニークを誇ろう
- 3 変化をしなやかにとらえる
- 4 地球視点で考える
- 5 あらゆる可能性とつながる

報告方針

リンテックグループでは、社是「至誠と創造」を根幹にさまざまな活動を行っており、2022年度の活動を中心に、近年関心度の高いサステナビリティ情報について報告しています。また本レポートでは、ステークホルダーとリンテックグループ双方にとって、特に重要性の高い情報を選択し掲載しています。より詳細な情報はサステナビリティサイトをご覧ください。

[日本語版] www.lintec.co.jp/sustainability/

[英語版] www.lintec-global.com/sustainability/

【発行年月】

前回発行年月：2022年8月 今回発行年月：2023年8月

次回発行予定：2024年8月

【参考としたガイドラインなど】

GRI「サステナビリティ レポーティング スタンドダード」
環境省「環境報告ガイドライン(2012年版/2018年版)」
環境省「環境会計ガイドライン(2005年版)」
ISO26000(社会的責任に関するガイダンス規格)

リンテックグループでは、ステークホルダーとのより良いコミュニケーションを図るため、さまざまな媒体による情報発信に努めています。各媒体についてはP35の「サステナビリティ情報を開示する主なメディア」をご参照ください。



INDEX

- INDEX 01
- リンテックグループ概要 02
- TOP MESSAGE** 04
 - 「厳しい事業環境下においても成長できる強靱な企業体質をつくる」
- リンテックグループの考え方、体制 08
- サステナビリティ推進体制 10
- リンテックグループの社会課題解決ストーリー 12
- マテリアリティとKPI 14
- 環境報告**
 - 持続可能な地球環境への貢献 16
 - 特集** CO₂削減に向けた各部門での取り組み 20
- 社会性報告**
 - 人権の尊重 22
 - サプライチェーン 26
 - コミュニティ参画 27
- ガバナンス報告**
 - グループ全体のガバナンスの推進 28
 - グローバルCSR報告 32
 - 社外取締役メッセージ 34
 - サステナビリティ情報を開示する主なメディア 35

〔対象期間〕

原則2022年4月1日～2023年3月31日を対象としていますが、具体的な取り組み事例の一部には2023年7月までの内容を含んでいます。

なお、海外グループ会社の環境データについては、2022年1月1日～2022年12月31日を対象期間としています。

〔対象組織〕

環境報告

「リンテック」：リンテック(株)の本社、10生産拠点*、研究所、東京リンテック加工(株)

「リンテックおよび海外グループ会社」：上記および海外グループ会社

「リンテックグループ」：リンテック(株)および国内・海外グループ会社

社会性報告 ガバナンス報告

「リンテック」：リンテック(株)

「リンテックグループ」：リンテック(株)および国内・海外グループ会社

なお、リンテックグループの情報は下記リンク先をご覧ください。

リンテック国内事業所：

<https://www.lintec.co.jp/company/branch/>

国内グループ会社：

<https://www.lintec.co.jp/company/group/>

グローバルネットワーク：

<https://www.lintec.co.jp/company/global/>

〔連結子会社の事業年度等に関する事項〕

連結子会社のうち、マックタック・アメリカ社、リンテック・タイランド社ほか36社の決算日は12月末日です。連結財務諸表の作成に当たっては、上記連結子会社38社の決算日と連結決算日との差異が3か月以内であるため、各社の事業年度の財務諸表を使用しており、連結決算日との間に生じた重要な取引については必要な調整を行っています。

〔報告内容の信頼性確保〕

★マークの記載箇所は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。第三者検証の結果、修正すべき重要な事項はありませんでした。

* 10生産拠点：吾妻、熊谷、伊奈、千葉、龍野、新宮、小松島、三島、土居、新居浜